

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

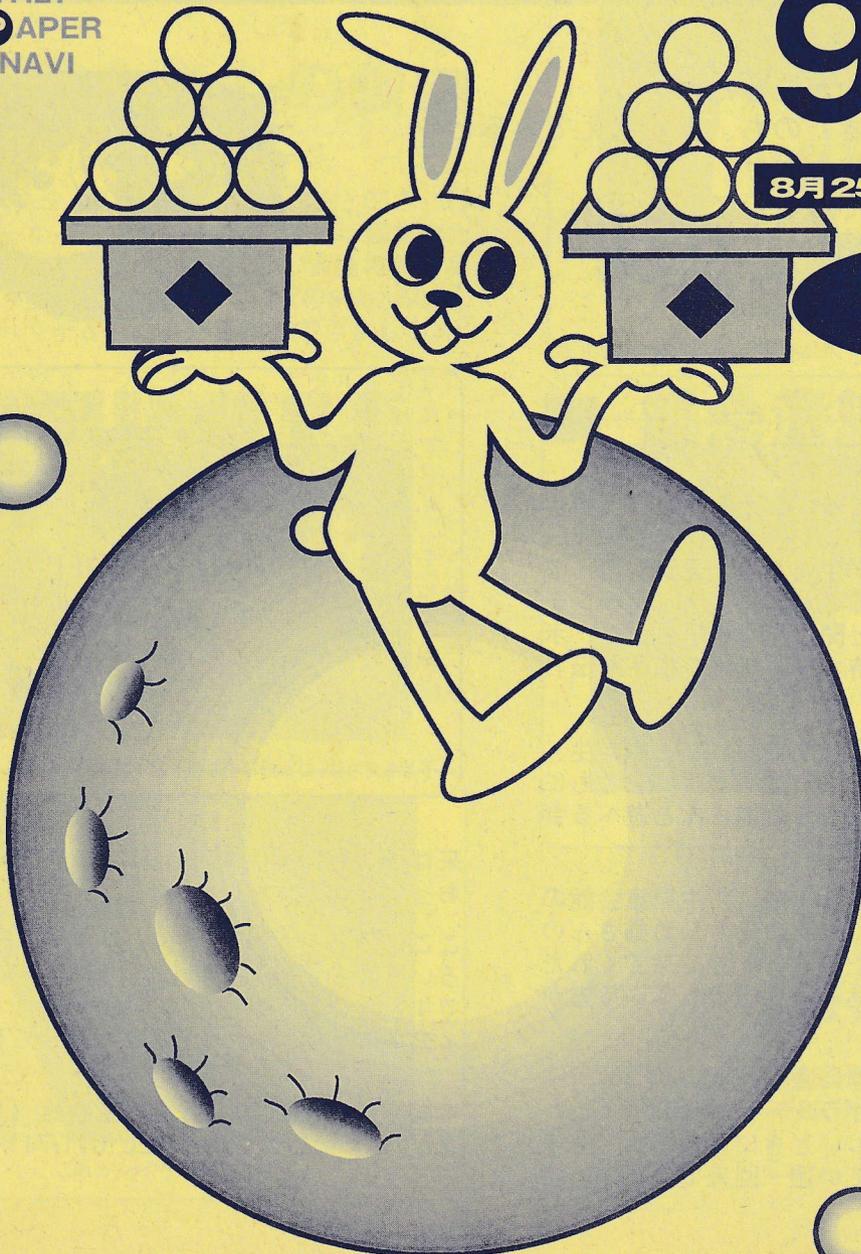
ボラナビ

MONTHLY
FREE PAPER
OLUNAVI

9月号

8月25日発行(第13号)

無料



特集 夏休み楽しかったですか？

特集 夏休み

楽しかったですか？



今年の夏休みはいかがでしたか。
楽しい思い出ができたのも、よく考えてみると
ボランティアさんのおかげ、
という方もいるのではないのでしょうか。
以前ボラナビでご紹介した団体さんの、
夏休み中の活動を見てきました。



■ 新生児童会館 ■

●夏休み中の子どもたちに会えるかな、と新生児童会館にうかがいました。夕方、プレイルームでは20人ほどの小学生たちが、元気に遊んでいました。私に「お姉さん、先生？（ボランティアさんのこと）」と聞いてくる子もいて、ボランティアさんを心待ちにしている様子が伝わってきました。

児童会館は札幌市内に106館あり、小・中学生、高校生までが誰でも自由に遊べます。子どもにとって、お友達やお兄さんお姉さんと遊べる会館はとても楽しい場所です。

去年、ボラナビに「冬休み中、新生児童会館の子どもたちと遊んでくれるお兄さんお姉さんのボ集」を掲載しました。それを見て来てくれた学生さんの中に、冬休み後も継続している方がいます。

安藤良子さんは医療大学に通う学生さんです。「子どもが好きなのでこのボランティアを始めました。学校の用事などで忙しいときには休ませてもらっていますが、たいてい週一回来ています。将



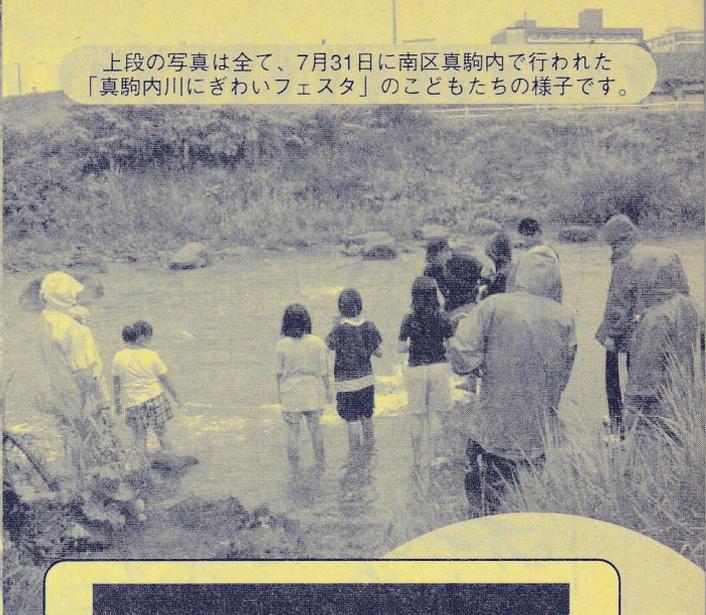
子どもたちは、ゴム飛びをしたりピアノを弾いて遊んでいました。

来は子どもに関係する仕事に就きたいです」とおっしゃっていました。

ここに子どもが通うお母さんの「子どもにはいろいろな人と接してほしい。学生さんは大歓迎です」という、お墨付きもあります。ボランティアさんたち、これからもがんばって下さいね。

* 関心のある方は、新生児童会館（東区北8条東7丁目 新生公園内 TEL 011-711-1339）までどうぞ。

上段の写真は全て、7月31日に南区真駒内で行われた「真駒内川にぎわいフェスタ」の子どもたちの様子です。



西区ホタルの会

●7月末、ホタルの鑑賞会が開かれると聞き、行ってみました。主催は、ボラナビ6号に掲載いただいた「西区ホタルの会」です。会場の清流会館グラウンド下（西区福井）に、夜の8時、500人の親子連れや子どもたちが集まってきました。

いくつかのグループに分かれ、ホタルを探しに行きました。ら、すぐに見つかりました。あっちにもこっちにも、ホタルが青白く光っています。初めて見たという人が多く歓声も上がりましたが、その後は静かに、みんなでホタルを見つめました。

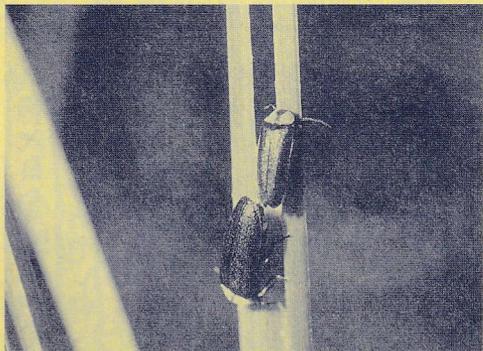
この日光っていたホタルは100匹ぐらいだそうです。「昔のようにホタルのいる町になって欲しいというのが私たちの願いです。ヘイケボタルの幼虫を15人の飼育会員が昨年から各家庭で飼育し、今年6月に放流しました」（同会事務局の小島さん）。



拓北高校理科研究部の学生さんが、ホタルの説明してくれました。



しばしホタルに見とれました。



これがヘイケボタルです。

*生態系を壊さずにホタルを呼び戻したいという西区ホタルの会の活動はこれからも続きます。
関心のある方は、
西区ホタルの会事務局
(TEL 011-665-7565) までどうぞ。



10/17

落ち葉で遊ぼう！1.2.3.

●**内容**：私たちアルテピア（社団法人 北海道美術館協力会）では、北海道立美術館などのサポートとして、ミュージアムショップの経営や、これくしょん・ぎやらりいの作品解説、出張美術講座など、広い範囲で活動しています。その中のひとつとして、子どもたちを対象に、屋外で自然と戯れながら美術創作に親しむ機会も提供しています。5回目を迎えます今年も、道立近代美術館の庭で、落ち葉や木の葉を集め、「木の葉のランプ」や「壁飾り」「写真立て」などを子どもたちと一緒に作ろうという企画を考えました。親子で秋の一日を楽しみませんか？

●**日時**：10月17日（日）10：00～14：30

●**場所**：北海道立近代美術館の庭、造形室、映像室（中央区北1条西17丁目）

●**募集人数**：小学生（家族も参加可。低学年は保護者同伴でお願いします）100人程度。無料。

●**参加方法**：往復ハガキで申し込んで下さい。住所、氏名（ふりがな）、学校名、学年、電話番号、保護者氏名、参加人数、ギャラリーツアーにも参加されるかどうかを明記して下さい。締め切りは、9月27日（月）です。先着順に決定し、参加可否はハガキで通知します。

●**申込先**：社団法人 北海道美術館協力会「青空教室Part V」係
（〒060-0002 中央区北2条西17丁目）

●**持参するもの**：画材（ポスカ、カラーサインペンなど色づけできるもの）、はさみ、カッターナイフ、接着剤（のり、ボンド、セロテープなど）、筆記用具、懐中電灯（落ち葉のランプを作るときに使用、家庭で使っているもの）、昼食、飲み物、おしぼり、敷物、参加決定のハガキ

●**主催と問い合わせ**：アルテピア TEL 011-644-4025

●**後援**：北海道立近代美術館

●**ギャラリーツアーとは**：道立近代美術館の常設展示（これくしょんぎやらりい）を解説つきでご覧になれます。青空教室終了後、14：30より解説をいたします。料金は、個人250円、10人以上になると、団体で1人200円です（65歳以上と高校生以下の方は無料です）。10月17日までは「岩橋英遠展」を開催しています。



9/18

地球市民講座「タイを知るセミナー」

●**内容**：タイと日本の生活、文化、人々の違いを比較し、異文化について理解を深めます。サブタイトルは＜私の異文化-タイ人が見た日本、日本人が見たタイ＞です。講師は、沢本シリポーンさん（タイランドクラブ）と伊藤早苗さん（アジアの子どもの会）です。興味のある方、いらして下さい。

●**日時**：9月18日（土）10：30～12：30

●**場所**：札幌国際プラザ5階コンベンションホール（中央区北1条西3丁目札幌MNビル）

●**定員**：80人。無料。

●**申し込み・問い合わせ先**：札幌国際プラザ市民交流課 TEL 011-211-2105
（月～金 9：00～17：30）

●**共催**：アジアの子どもの会

9/1

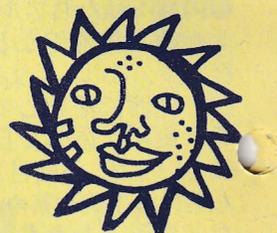
災害救助犬が札幌市総合防災訓練に参加します

●**内容**：阪神・淡路大震災では、海外の救助犬グループが活躍しました。しかし、日本に到着してから実際の活動までには、検疫などシステム上の問題からずいぶん時間がかかりました。そこで社団法人災害救助犬協会北海道では、日本に救助犬のシステムを構築し、多くの方々にこのシステムを知っていただきたいと思っています。札幌市総合防災訓練に参加することになりましたので、救助犬の訓練をぜひご覧下さい。多くの方のおいでをお待ちしています。

●**日時**：9月1日（水）9：00～11：00／札幌市総合防災訓練（救助犬の参加は9：20～9：40）

●**場所**：中央区大通西1丁目 市民会館前

●**問い合わせ**：社団法人 災害救助犬協会北海道 TEL 011-532-5411



9/19

コンベンション市民セミナー「太陽光発電」

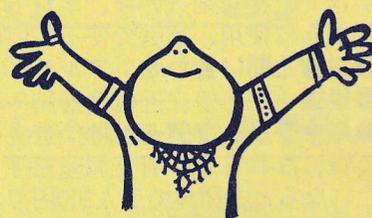
●**内容**：地球に優しいクリーンエネルギー源として注目される太陽光発電を紹介します。①親と子の工作教室「太陽電池で動く模型自動車組立」②講習会「初めての太陽光発電システム」③展示会…太陽光発電関連の研究機関及び企業の活動紹介です。

●**日時**：①9月19日（日）10：00～12：00 ②9月19日（日）13：00～16：00
③9月19日（日）～22日（水）10：00～17：00（22日は13：00まで）

●**会場**：ロイトン札幌（中央区北1条西11丁目 TEL 011-271-2711）

●**申し込み**：①は小学生とその家族、80組、②は200人です。国際プラザ・コンベンションビューローまで電話でお申し込み下さい。先着順で、いずれも無料です。③は自由参加です。

●**問い合わせ先**：国際プラザ・コンベンションビューロー
TEL 011-211-3675（月～金 9：00～17：30）



10/9

学園祭にきてください

●**内容**：北海学園大学十月祭を行います。様々なイベントがありますので、お気軽にお越し下さい。
例えば

- ・100円ジャンケン（9日13：00～、10、11日14：00～）…各参加者は100円で券を購入し、ジャンケンに勝つ度に相手の券がもらえます。最終的に勝ち残った一人に、手にした枚数分相当の賞品が与えられるという企画です。
- ・3on3大会（10日10：00～）…北海学園生がチームに一人でもいれば参加可能。年々盛り上がりを見せている、十月祭恒例企画です。
- ・Mr. 獣月祭（11日17：00～）…北海学園一の男を、様々な分野のゲームによって選ぶ企画です。
- ・99世紀末占いの砦…無料でタロット占いをします。

●**日時**：10月9日（土）～11日（月・祝）

●**場所**：北海学園大学 豊平区旭町4丁目1-40

●**問い合わせ先**：北海学園大学 I 部 十月祭実行委員会 TEL 011-841-1161（内線560）

9/11

さっぽろ・こころの健康まつり

●**内容**：社会的ハンディを抱えた精神障害者や、環境に順応できずに不登校になる人たちが増えています。こういった方々に対する誤解や偏見があって、ご本人や家族の苦労は大変です。このイベントを通して、少しでも精神障害者について知っていただきたいと考えています。お気軽にご参加下さい。

●**イベント日時と内容**：

9月11日（土）

10：00～11：30 講演「豊かさの病理」。

講師は、精神科医の渡部正行氏（北海道新聞にコラム連載中）。

13：00～14：30 当事者や家族の体験発表「苦しんだこと、つらかったこと、そして今」

14：30～16：00 バンド演奏。出演は、回復者グループや協賛団体などです。

なお、サブ会場では、小規模共同作業所などの作品展示や喫茶コーナー、体験コーナー（ストレス耐久性チェックや心理テスト、アルコールパッチテスト、こころの健康度のチェック）、資料展示コーナー（精神保健福祉の現状を伝える資料など）を行っています。

●**会場**：札幌市社会福祉総合センター（中央区大通西19丁目）

●**主催・問い合わせ先**：

さっぽろ・こころの健康まつり実行委員会

TEL/FAX011-281-7330

中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ4階

札家連事務局内

●**備考**：この実行委員会は、精神保健福祉に関心のある当事者、回復者、家族、関係者及び市民によって構成されている任意のグループです。



9/19

レインボーマーチに参加しませんか？

●**内容**：レインボーマーチは、今年で4回目になる開催です。これまでの日本社会で自分のセクシャリティを隠して生きて来ざるをえなかった私たちが、このイベントを通じて広く社会に私たちが存在することをアピールし、多様な生き方を主張します。また孤立しているゲイやレズビアンなどのセクシャル・マイノリティ（性的少数者）は「君はそのままでいいんだよ」というメッセージを与えるためのイベントです。

もちろんセクシャル・マイノリティだけではなく、私たちが応援して下さる方なら誰でも参加していただけるイベントですので、ぜひ私たちと一緒に歩いてください。事前の申し込みはいりません。なおレインボーマーチ後、14：30から大通西6丁目広場で「プライド集会」を催します。こちらにもご参加ください。

●**日時**：9月19日（日）12:00集合 13:00スタート ●**集合場所**：大通公園西6丁目広場

●**コース**：大通公園・すすきの周辺約4キロ

●**申込**：必要ありません。直接会場にお越しください。

●**問い合わせ**：HSA札幌ミーティング TEL&FAX 011-242-3321

E-mail：hsa@ce.mbn.or.jp ホームページ <http://plaza12.mbn.or.jp/~hsa/>

（手話通訳が必要な方は事前にお知らせください）

●**備考**：HSA札幌ミーティングとは、ゲイやレズビアン、バイセクシュアルといったセクシャルマイノリティの、権利拡大や相互扶助を目的として活動しているNPO（非営利団体）グループです。

その他のお知らせ！！



お知らせ ボランティア365（1年間ボランティア計画）参加者ボ集

●**内容**：1年間フルタイムでボラ活動を行うプログラムです。各参加者はひとつの「活動先」に派遣され、地域の中で生活しながら活動します。活動先は、子どもの遊びや生活をサポートする教育分野、高齢者の生活を支える高齢者福祉分野、障害者の自立支援や生活支援などの障害者福祉分野、地域づくりに取り組む団体などの地域振興分野、その他、病院、国際交流など様々な分野で活動している全国各地の団体、機関、自治体が活動先になります。参加期間中の経費についての負担はありません。住居や基本的な生活用品は活動先から提供され、月に一定額の生活費が支給されます。

●**参加期間**：2000年4月上旬～2001年3月上旬

●**参加要件**：原則として18～30歳で、参加期間中を通して現住所を離れられる人。未知の場所で社会に貢献し、1年間の生活に耐えられる情熱と意欲のある人。

●**応募するには**：1200円分の切手と、『住所、氏名、年齢、職業、電話番号、ボランティア365を知ったきっかけ』をお書き添えの上、資料を請求して下さい。資料に添付されている参加申込書と、応募事務手数料10000円を添えて、11月30日（火）必着でお申し込み下さい。

●**問い合わせ、資料請求先**：社団法人 日本青年奉仕協会（JYVA）
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内
TEL03-3460-0211 FAX03-3460-0386 e-mail:jyva@blue.ocn.ne.jp

●**備考**：JYVAは、1967年に文部省認可の公益法人として創設された、民間ボランティア活動推進機関です。以来、国内外のボランティアグループや団体、学校、企業、研究期間などと幅広いネットワークを築き、ボランティアに関する相談、活動の場の提供、研究開発、出版活動、国際交流などを行っています。

お知らせ 論文ボ集

●**内容**：北海道レクリエーション協会は、来年で50周年を迎えます。その節目に当たり記念誌の発行を予定していきまして、掲載する論文をボ集します。21世紀の活力ある北海道を作るためにも、道民一人ひとりが気軽にレクリエーションに親しめる環境づくりが必要です。高齢化社会に対応した、地域社会でのレクリエーションの取り組み、教育や健康についての考え方、身近な活動などを含め、新しい世紀へ向けての願い、夢や希望、決意などをお待ちしています。

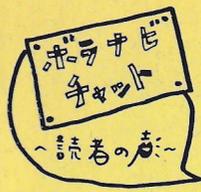
●**ボ集論文**：テーマは『21世紀へのレクリエーション活動』です。99年12月末日までに、400字原稿用紙15枚程度、縦書きでお願いします。最優秀論文に5万円、優秀論文に2万円をさしあげます。発表は2000年5月末です。

●**問い合わせ・論文送り先**：北海道レクリエーション協会事務局

TEL/FAX011-866-0979

〒003-0022 白石区南郷通り2丁目南10-10 リラオクムラ502号





●ボラナビにボ集を載せた本人が驚くほどの反響があり、嬉しいやら忙しいやらの毎日でした。これだけの人々の

熱い思いを実現したく、不登校低学年の家庭派遣を5月の連休明けに始めました。入念な準備の上の活動です。質の高い意欲のあるボランティアさんにより、初対面から打ち解ける母子と充実した時間を持ったことが手応えを感じました。安心できる時点でボランティアさんに渡し、家庭とボランティアさんの連携になっていきます。まだ始まったばかりですが、着実に継続していると思います。

(海の会 TEL/FAX0134-32-7347 鈴木)

●ボラナビ5月25日号に、運動会などのボラさんボ集を掲載していただいたところ、予想以上の反響で、スタッフは嬉しい悲鳴をあげています。対応できる予定数を超えてしまい、残念ですが

お断りさせていただいた方もでてしまい、本当に申し訳ありませんでした。あゆみの園では、常時、在宅の方の通園活動のボランティアさんをボ集しています。よろしくお願いします。

(あゆみの園 TEL011-881-0201)

●ひまわり号の掲載、ありがとうございます。早速問い合わせが来ています。ボランティアをしたい人とボランティアの手を借りたい人とを結ぶボラナビの役割は本当に大切だと思います。ボラナビの更なる発展を期待しています。

(ひまわり号 札幌実行委員会)

●以前、ボランティアをボ集する側としてボラナビにお世話になりました。今は退職し、ボランティアをする側になっています。する側に立ち、継続性が必要と感じています。それは、する側、される側ともども(利用者や職員も含めて)互いに感謝しあい、人としてつながっていくことなんじゃないかな。まずは無理をせずに、人のため、それ以上に自分のためとしてボランティア第一歩を踏み出してみることを、読者の皆さんにおすすめてみたいです。よりよい社会づくりをしていきませんか?

(読者の方からのお便り)



ボラ誌行脚!

他地域の情報誌をのぞくと、おもしろいボ集やイベントがでていることがあります。



仙台の情報誌「杜の伝言板ゆるる」に、子どもたちの悩みを聞いてくれる電話「チャイルドライン」を作ろうと活動している「MAYAGI子どもネットワーク」という団体のことが書かれています。代表の小林純子さんにお電話でお話を聞きました。

チャイルドラインは、13年前にイギリスで始まりました。フリーダイヤルでかけてきた子どもに、研修を受けたボランティア相談員が電話に応じます。このチャイルドラインの基本は、子どもの話をよく聞くことです。自主性と主体性を大切に、決して「～をしなさい」と押しつけないこと。子どもの話に根気よく耳を傾けながら、慎重にいくつかの選択肢を示していくだけのものです。

日本でも今年の2月末、2週間という期間限定ではありましたが、東京で「せたがやチャイルドライン」が実施されました。事前に研修を受けた50人の相談員が、交代で24時間の電話相談を受けました。相談は2週間で1253件あったそうです。「やはり子ども専用の24時間電話相談機関は必要である」という思いを強くしました。

私は、子ども会や子ども劇場など、子どもにかかわる活動を長くやってきましたが、時として子ども不在の運営になりがちなのが気がかりで、子どもたちの本当の思いを聞くシステムが必要だと感じていました。そこで仲間と、今年3月から子どもが生き生きできる環境づくりのためにチャイルドライン開設へ向けての学習会を始めました。

チャイルドラインの開設時期は未定ですが、普段から子どもが自由に安心して話せる場になるといいなと思っています。



運び屋を初体験

飛んでけ車いすボラ体験者 小林 博 さん

ボラナビでは、読者の方からエッセイを募集しています。ボランティアに関するあんなこと、こんなことを、600字くらいにまとめて送って下さい。お待ちしております。

現地の空港に着いて荷物がなかなか出てこない。荷物というのは「車いす」のことである。自分たちの荷物が全部出てきたのに、肝心の車いすが出てこないのである。出てくる荷物が他になくなって不安に思っていると、係りの人が「車いすをお待ちですか？」という。見ると車いすはすでに出口の近いところに運ばれている。「イヤー、これは私共が運んでいるんですよ」というと「あ、すみません、誰かが使われるんだと思って運んでおきました」と。車いすは気を利かして、座る人を早くから待っているのだった。なるほど、車いすはみんなに注目され、特別扱いのようだった。

荷物を引き取ってからの車いすは大変便利だった。同伴の家内と私の重い荷物などをそっくり車いすに乗せて運ぶことができ助かった。ところが空港から乗用車にのるとき、車いすが大きくて私共の荷物と一緒に車のトランクに入らない。人を乗せないわけにもいかず荷物を積まないわけにもいかず困っていると、出迎えてくれた方が、予めの連絡で車の屋根に乗せる台と紐を用意してくれていたのだった。車いすは車の屋根の上に乗って夜の町を涼しそうだった。

翌日、車いすは無事スリランカのペラデニア大学歯学部病院にお渡しした。そのとき新品の車いすをもらったといってみんな大喜び。実は家内が札幌で車いすを引き取ってから何度も洗いきれいに磨きをかけてくれたのだった。

車いすはみんなの小さな親切で現地の人たちに大変喜んでいただいた。それだけでなく車いすも幸せそうだったし、運び屋の初体験は大成功だった。

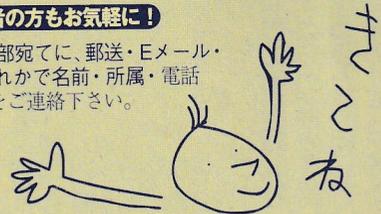
新しい出会いときさくなお喋り、それが喜び？

第7回 9月のボラナビの集い

- 日時：9月19日(日)
13:30~15:30
- 場所：環境サポーターセンター（北区北7西5 札幌千代田ビル1F）
- 会費：500円（お菓子・飲み物付き）

初心者の方もお気軽に！

ボラナビ倶楽部宛てに、郵送・Eメール・FAXのいずれかで名前・所属・電話番号をご連絡下さい。



I am ボラナビ

このコーナーは、スタッフが持ち回りで担当。それぞれのボラナビ体験をご紹介します。

誌面制作担当です。最近のことを文字文字。

①今、ちよつと欲しいものがあります。「フロッグマン・マッドドッグ・エクスペディション・モジュール」。今さらながらのGシビックです。バンドに「Quest for knowledge Thirst for adventure」を書き添えるから欲しい！知識の探求、冒険への渴望という意味で、それを身につけた自分を想像するととても格好良い人に思えるのです。物に執着する人は、人間関係が稀薄だったり、自分に自信がない人だといふ説があります。私もそんなのかも知れません。うーん。お金が無いから悩むこともないか……

②川のお金がお手伝いが続いています。八月七日は、「月寒川にぎわい川まつり」に行ってきた。ボランティアが百名以上で、親子二百人以上の参加があったイベントです。

当日は、最近の子どもは、外で遊ばない、遊べないという固定観念がぶつとびました。魚とりをするはずが、じゃばじゃばと泳ぎ出す子どもや、川岸から川に飛び込む子ども達が続出した。まだまだ、札幌の子どもにも野性が残っているな、偉いゾツて感じます。

でも、一番偉いのは、そんな子ども達の所業を許し、ニコニコと見守っていたお母さん達。僕が想像していた「汚れるからダメ」っていうお母さんではなくて、これまた嬉しくなりましたヨ。

③ついでに、僕が積極的に関係した、七月三十一日の「真駒内川にぎわいフェスタ」の報告も。川は増水して立入禁止の上、小雨交じりの当日でしたが、親子で百五十名の参加がありました。好天に備え集まってくれた百八十名のボランティアさん、やることになかった方もいて申し訳ありませんでした。

④八月九日、ディズニーマイム映画の「ムーラン」をビデオで観た。あまりの深さに、涙が出そうになっちゃった。ディズニーマイムに悪い人おらず（僕は別。いつまでもこういう感性で大切にしてください）。

⑤大ベストセラー本「子どもにウケる科学手品77」を買いました。火花が散るアルミ缶など、興奮の連続間違いなし。今度、どっかの子どもにウケてみようつと。

クネレンジャー／クネレド（自営業）

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学（本屋）、北海道女子大学、札幌学院大学、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJOY、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU <以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター（平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタムー東苗穂、月寒中央）、マックスバリュ厚別

●書店●

本の岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房（北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目）、ピヴォブックセンター（南2西4ピヴォ6階）

●レンタルビデオ店●

TOWA・フォレストエージ 市内全店、TSUTAYA（北14東6、北3西28）

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE（南1西3ラ・ガレリア地下1階）

●映画館●

松竹、SY遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、その他

●その他●

北海道環境サポートセンター（北7西5）、朝日カルチャーセンター（北2西1）、札幌国際プラザ（北1西3）、北海道電力（株）市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター（大通り西3）、ライラックパセオ、JTインフォプラザ（南2西3）、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅

●市内公的施設●

70カ所（区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています）

今月の表紙のイラストは、
〈ちひろみ/デザイナー〉さんの作品です。

ボラナビでは、表紙の絵を収集しています。

応ポの方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。

何時間もかけて選び、買った服の入った袋を、なんとデパートのお手洗いに置き忘れました。気づいたのは10分後。半狂乱になって笑慌てて戻ったけど、跡形（あとかた）もなく…。インフォメーションや警備の人に問い合わせても届いてないとの返事。
帰ろうかと思いつつ、あきらめきれずに、もう一度お手洗いに戻って探しました。個室一戸戸だけでなく、掃除ロッカーも開けたところ…なんと、ありました。掃除の方が、後で届けようと保管してくれていたのかな？置き手紙をして持って帰りましたが、非常に疲れた出来事でした。

（もりたま）



from volunavi

読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数をお書き添えの上、3000円をボラナビの口座にお振り込みください（口座番号は最終ページにあります）。6カ月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー（古い号）も配送します（創刊号と3号は品切れしてしまいました）。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください（金額は…おまかせします）。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか？

ボラナビでは広告掲載を始めました。縦4センチ横13センチで6万円です（版下制作費込み）。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます！掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万5千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛してくださった方々 (順不同)

- ・株式会社ホクレン商事 様
- ・住友石炭鉱業(JOYスーパー) 様
- ・北海道土質コンサルタント株式会社 様
- ・北雄ラッキー株式会社 様
- ・城宝 和茂 様
- ・進藤 芳彦 様
- ・日本ポラロイド株式会社 様
- ・株式会社ワークボックス 様
- ・サボガイ企画担当スタッフ一同 様
- ・株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・北洋銀行 様
- ・真屋 幹雄 様
- ・生活クラブ生活協同組合 様
- ・札幌信用金庫 様
- ・株式会社あるた出版 様
- ・札幌すすきのライオンズクラブ 様
- ・織田 元樹 様
- ・株式会社 大元 様
- ・札幌中央郵便局 様
- ・ほくでんぼるねっと 様
(北海道電力内ボランティアサークル)

- ・中道リース株式会社 様
- ・北海道紙商事株式会社 様
- ・富士火災海上保険株式会社 様
- ・富士火災ふれ愛倶楽部 様
- ・赤帽北海道事業本部 様
- ・幡本印刷 株式会社 様



イラスト:やましたやひろさん

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的な御協賛をお願いします(数号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 123-0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店152-0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ



ホームページアドレス
<http://www.infosnow.ne.jp/volunavi/>

メールアドレス
volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899(電話はかかりません)

■発行日:1999年8月25日

■定価:無料

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社